

キーボード
P C S - 3 5 K B
取扱説明書

ご注意

本キーボードをプリセットカメラシステムのシステムコントローラ（P C S - 3 5 S C）と接続する場合は、プリセットシステムの取扱説明書をご覧ください。

Ikegami

安全上のご注意 (必ずお守りください。)

安全に正しくお使いいただくために

ご使用の前にこの「安全に正しくお使いいただくために」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになった後はいつでも見られる所に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

- お買い上げになった機器に当てはまらない注意事項もありますが、ご了承ください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上のご注意 (必ずお守りください。)

使用上の注意



警告



本機のケース・裏パネル等はずさない！

内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または営業所にご依頼ください。



本機の上に水などの入った容器を置かない！

こぼれて中に入ると、火災・感電の原因になります。



本機の上に小さな金属物を置かない！

中に入ると、火災・感電の原因となります。



表示された電源電圧以外は使用しない！

火災・感電の原因となります。



本機に水が入ったり、ぬらしたりしない！

火災・感電の原因になります。雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。



本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない！ 落とし込まない！

火災・感電の原因となります。



電源コードを傷つけない！ 加工しない！ 無理に曲げない！ ねじらない！ 引っ張らない！ 加熱しない！

コードが破損して火災・感電の原因となります。



本機を改造しない！

火災・感電の原因となります。



風呂、シャワー室などの水場では使用しない！

火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、同軸コネクタ/ケーブルや電源プラグに触れない！

感電の原因になります。



指定された消費電力(W)を越える装置は接続しない！

火災の原因となります。本機のACアウトレットが供給できる電力(W)はACアウトレット付近または取扱説明書に表示してあります。

安全上のご注意 (必ずお守りください。)

設置について



警告



不安定な場所に置かない！

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。



電源コードの上に重いものを置かない！本機の下敷きにしない！

コードが傷ついて、火災・感電の原因になります。コードの上を敷物などで覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



水場に設置しない！

火災・感電の原因となります。



指定された機器以外とは接続しない！

火災・感電の原因となります。



本機の固定は工事専門業者に依頼を！

本機を固定する場合は、指定された方法できちんと固定しないと、落ちたり、倒れたりして、火災・感電・けがの原因になります。特に、壁や天井に固定する場合は、必ず工事専門業者にご依頼ください。なお、取付け費用については、販売店または営業所にご相談ください。

異常時の処理について



煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して、販売店または営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または営業所にご連絡ください。



本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または営業所にご連絡ください。

安全上のご注意 (必ずお守りください。)

異常時の処理について



警告



本機が故障した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または営業所に修理をご依頼ください。



本機を落としたり、ケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または営業所にご連絡ください。



電源コードが傷んだ(芯線の露出・断線など)場合は、交換を依頼する！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または営業所に交換をご依頼ください。

使用上の注意



注意



本機に乗らない！

倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。



本機の上に重いものを置かない！

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。



移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



長期間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く！

火災の原因となることがあります。

安全上のご注意 (必ずお守りください。)

使用上の注意



注意



レンズで太陽・照明などをのぞかない！

強い光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

設置について



湿気やほこりの多い場所に置かない！

火災・感電の原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たる場所に置かない！

火災・感電の原因となることがあります。



本機の通風孔をふさがない！

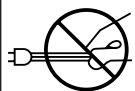
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルやクロスなどを掛ける。



電源コードを熱器具に近づけない！

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない！

感電の原因となることがあります。

安全上のご注意 (必ずお守りください。)

お手入れについて



お手入れの際は安全のため、スイッチを切り電源プラグを抜く！
感電の原因となることがあります。



1年に一度くらいは、販売店または営業所に内部の掃除の相談を！

本機の内部にほこりがたまったらそのまま使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店または営業所にご相談ください。

目 次

	ページ
1 . 概要	2
2 . 特長	2
3 . 各部の名称と機能	3
4 . 接続のしかた	4
5 . 操作のしかた	6
5.1 設定	
1) システム設定 (キーボード)	7
2) システム設定 (システム)	8
3) システム設定 (オートスイッチャ)	10
4) システム設定 (パンチルト)	11
5) システム設定 (工場出荷)	11
5.2 登録	
1) プリセット登録	12
5.3 監視	
1) 監視状態	13
5.4 操作	
1) プリセット番号呼出し	13
2) カメラCH選択	16
3) デジタルレコーダの操作	18
4) 他局操作とロック	19
6 . 画面遷移	20
7 . トラブルシューティング	23
8 . 仕 様	24
9 . 保証とアフターサービス	24
10 . 外観図	25

取扱い上の注意事項

- むやみにケースを開けないで下さい。
- 周囲温度は定格内、湿度は80%以下の非結露の場所でご使用ください。
- 強い衝撃や振動はキズや故障の原因になりますので、取扱いにご注意下さい。
- 直射日光や暖房等の強い熱のあたる場所には設置しないで下さい。
- 強力な磁界や強い電波のある場所には設置しないで下さい。
- 本装置をラジオ、テレビ等の無線機に隣接して設置されますと、受信障害の原因となる場合があります。

※本システムで使用する他のカメラ、周辺機器の詳細は個々の取扱説明書をご覧ください。

1. 概 要

本器は、最大200CHのプリセットカメラ、マニュアルカメラ、固定カメラの映像切り替えやズームレンズ/パンチルト、またデジタルレコーダなどの操作を手元で一元的に操作することができ、総合的セキュリティシステムが構築できます。

プリセットカメラを、あらかじめ各監視場所のズームアップ画面を記憶させておくことにより、その番号を入力すると、自動的にそのズームアップ画面を素早くマスタモニタに出力することができます。その他に、屋外用などのマニュアル操作のズームレンズ/パンチルトも混在して1つのキーボードでコントロールすることができます。

また、キーボードを増設し、各キーボードにマスタモニタを設置して最大20ヶ所で同時操作することができます。さらに専用回線などを利用し、遠隔操作することも可能です。

2. 特 長

(1) 複数台のキーボードを同時操作可能

- ・ 1システム内の最大20台のキーボードからそれぞれ別のカメラを同時に操作することができます。
もし、同じカメラを操作しようとした場合は、最後に操作しようとしたキーボードが優先します。
- ・ 他のキーボードから操作できないようにロックすることもできます。

(2) プリセットカメラ操作

- ・ あらかじめ各監視場所のズームアップ画面にプリセット番号をつけて登録することができます。プリセット番号を入力すれば、プリセットポジションに素早くズームアップします。プリセット番号はN00001~9999まで登録することができます。
- ・ プリセットカメラのフリッカレス、ワイドダイナミックレンジなどの各種設定をカメラ操作中でも簡単に設定することができます。
固定カメラも擬似的にプリセットポジションの1つとして登録することができます。

(3) デジタルレコーダ操作

- ・ デジタルレコーダの前面パネルの操作を手元で操作することができます。

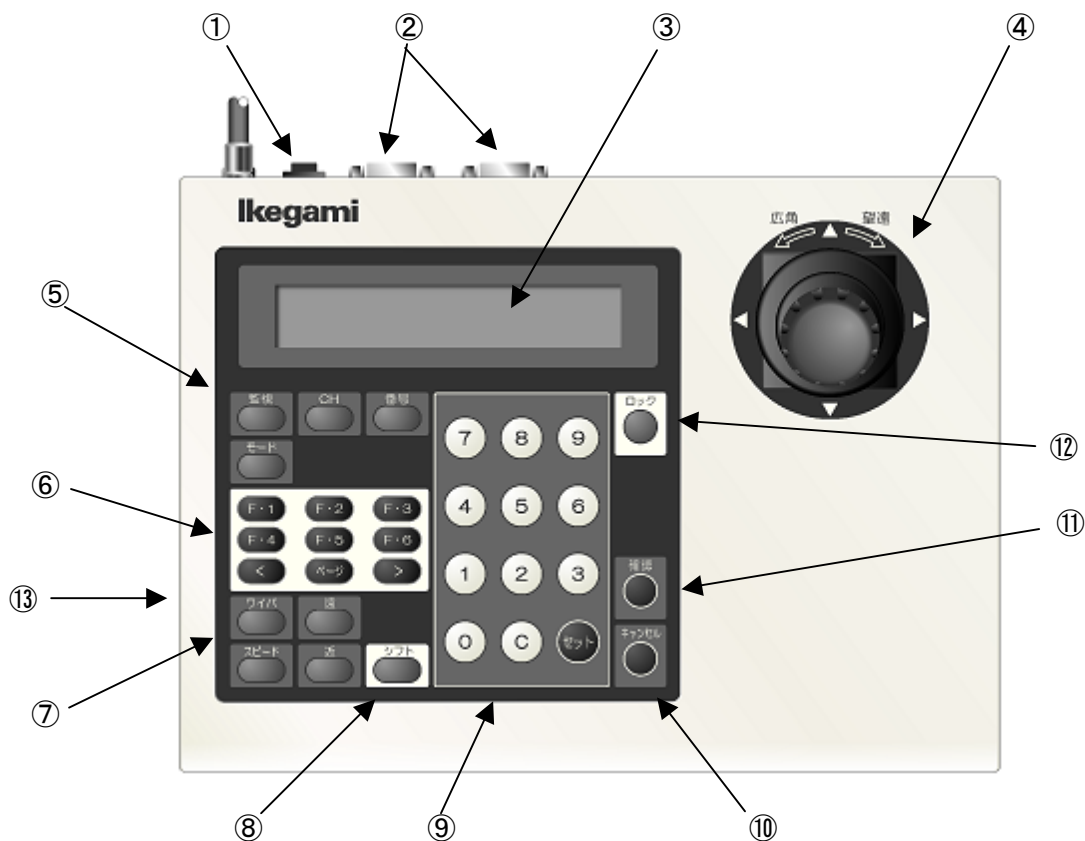
(4) 遠隔制御

- ・ RS-232Cポートから、専用回線などを利用し遠隔地から操作することができます。

(5) 外 観、操 作

- ・ A4サイズでスペースファクタに優れています。
- ・ 操作ボタンには、メンブレンスイッチを採用。防水性、防塵性、耐久性に優れています。
- ・ 20文字×2行の大型LCD画面を採用し、視認性が向上しています。
- ・ 3Dジョイスティックの採用により、片手でパンチルト、ズーム、スピードの操作を容易に行うことができます。

3. 各部の名称と機能

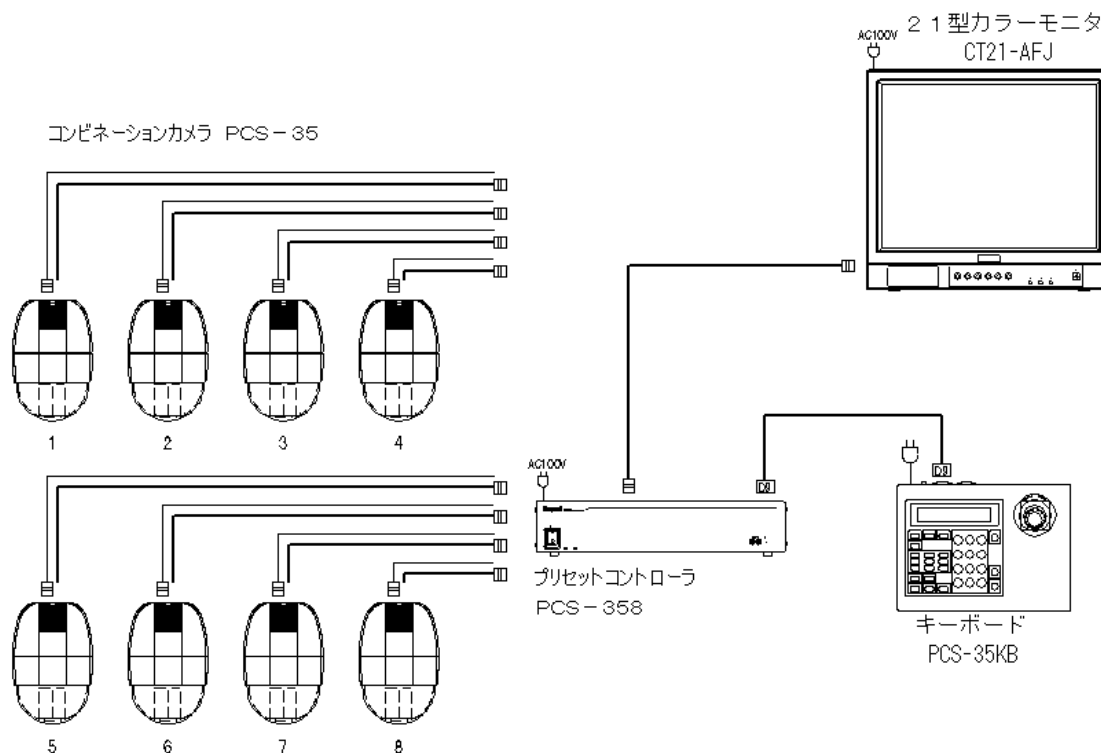


- ① 電源スイッチ : |側が電源ONです。
- ② 通信コネクタ : I-LAN(RS-485)に同梱のケーブルで弊社製周辺機器を接続します。RS-232C(DCE)からも同様に制御することができます。
- ③ LCD : 20行×2桁の大型LCDです。5分間操作しないと自動消灯します。
- ④ 3Dジョイスティック : パンチルト、ズームレンズの操作が片手で行えます。
- ⑤ 操作モード選択部 : オートスイッチャ監視、カメラCH選択、プリセット番号呼出し、デジタルレコーダ操作などの操作モードを選択します。
- ⑥ ファンクション部 : 各操作モードで操作用のファンクションボタンの内容が切り替わります。ページを切替えて色々な操作を行います。
- ⑦ 操作部 : ワイパ、スピード、フォーカスの操作を行います。
- ⑧ シフト : 特殊な操作の時に使用します。
- ⑨ テンキー部 : カメラCHやプリセット番号を入力します。
- ⑩ キャンセル : セットアップ時、主に何もせず前画面に戻る時使用します。
- ⑪ 確認 : セットアップ時、設定内容をメモリします。
- ⑫ ロック : 現在使用しているカメラ操作権をロックします。
- ⑬ 輝度調整 : 文字の輝度を調整できます(側面の穴)。

4. 接続のしかた

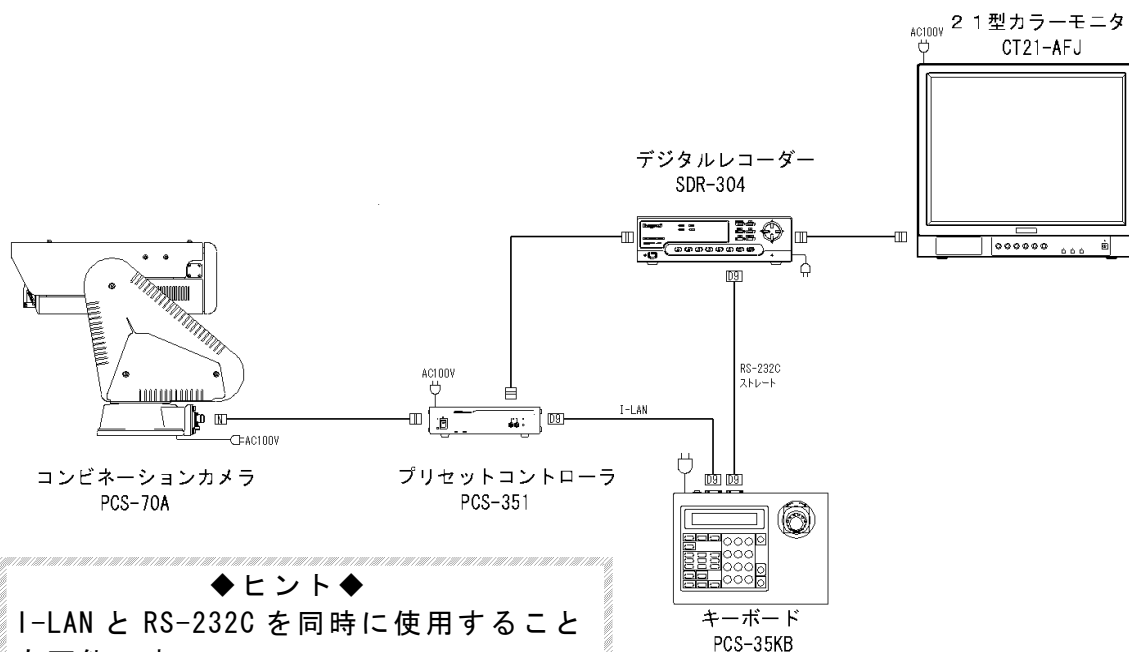
【システム例1】

※コンビネーション（プリセット）カメラ8台を1台のキーボードで操作する場合（キーボードの工場出荷設定でこのシステムが動作します）。



【システム例2】

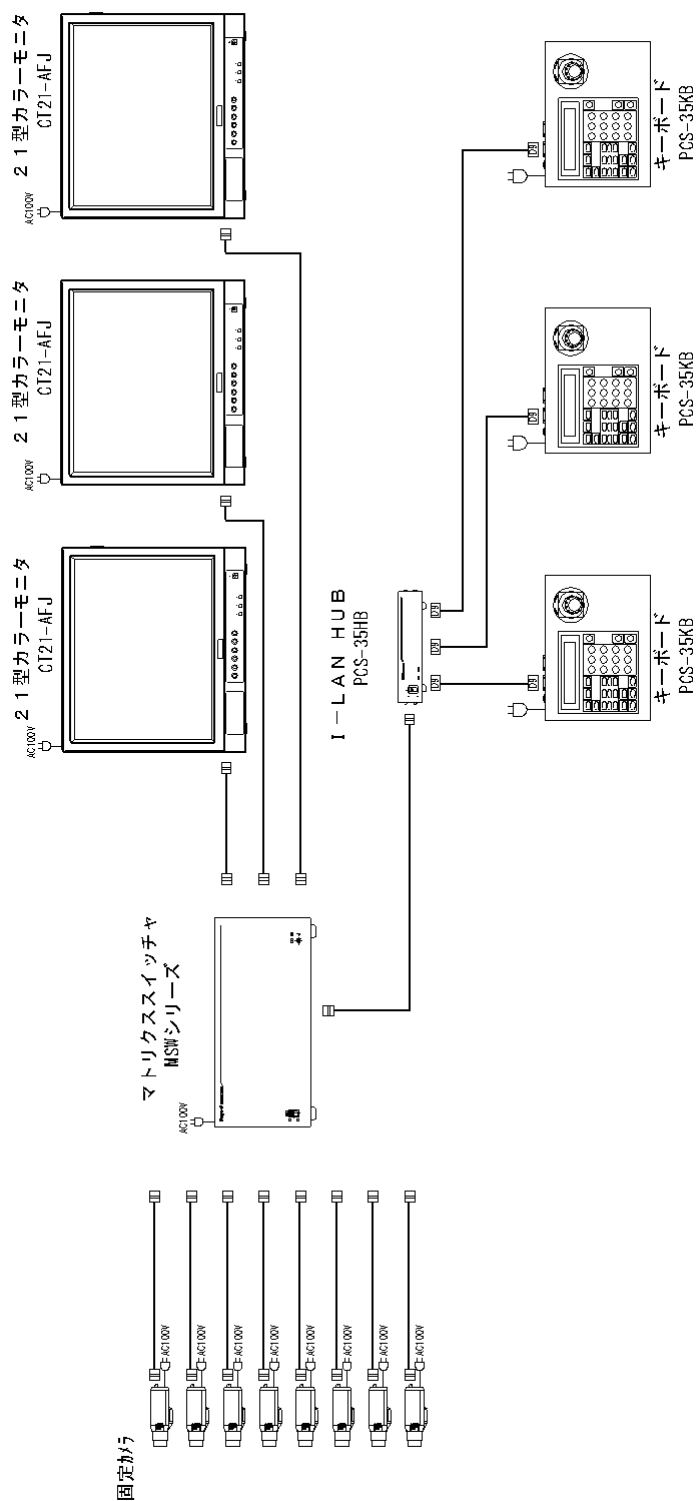
※屋外用コンビネーション（プリセット）カメラとデジタルレコーダをキーボードで操作する場合。



◆ヒント◆
I-LAN と RS-232C を同時に使用することも可能です。

【システム例3】

※固定カメラ8台とマトリクススイッチャを3台のキーボードで操作する場合。



5. 操作のしかた

※操作は大きく分けて 設定、登録、操作、監視 の4つの状態があります。

【5.1】 設定

1) システム設定 (キーボード)

システム設定は、監視画面で **シフト**+**セット**+**モード**ボタンを同時に押します。

— 説明文中の太文字は、すべての操作に共通して必要な内容です。—

① キーボード設定

システム セッテイ
P 1 : キーボード

・↑ここにPの文字が出ている時は、**ページ**を押してファンクションを表示できます。

K B - I D | スタートCH |
| | ソウシン

・この様に|で仕切られている画面は、**F・1**~**F・6**に対応しています。

② キーボードIDの設定 (F・1)

K B - I D : 0 0 →

・数値入力は **10キー**で数字を入力し**セット**を押します。

・右上に→が点滅した時は、**確認**で設定され前画面に戻ります。

キャンセルは設定されずに前画面に戻ります。

・キーボードの使用数が1台の場合は01を設定します。複数台の場合は各キーボードごとに順に、02、03・・・と設定します。

③ スタートCH設定 (F・2)

・キーボードを起動した時、マスタモニタに何の映像を表示するかを設定します。

スタートヒョウシ` CH : 0 0 0 →
(0 0 0 = オート)

・000の場合は、オートスイッチとなります。

※オートスイッチは基本的にはキーボードが1台のときに設定します。

複数のキーボードが、同時に1台のモニタに対してオートスイッチすることはできません。

・000以外を入力した場合、そのCHの映像が固定表示されます。

④ 設定データの送信 (F・6)

セッテイデータヲ タキョクヘソウシン →
[カクニン] ソウシン [キャンセル] シナイ

・他のキーボードへ設定データを送信し、コピーすることができます。

・キーボードのID以外の設定データがコピーされます。コピーは数分かかります。

2) システム設定 (システム)

① システム設定

- ・ Pの右に数字がある場合は複数のページが存在することを意味しています。
- ・ **>** で次のページ2を表示させます。

システム	セッテイ
P 2	: システム

- ・ **ページ** を押しファンクションを表示します。

カメラ	スウ		シュ	ヘツ		ホ	ショウ
セツ	ソク						

② カメラ台数の設定 (F・1)

カメラ	タ	イスウ	:	0	0	0	タ	イ	→
-----	---	-----	---	---	---	---	---	---	---

- ・ 使用するカメラの全数を設定します。

④ カメラ種別の設定 (F・2)

- ・ 使用するカメラの種別 (制御方法) を設定します。

CH	0	0	0	シュ	ヘツ	:	コ	テイ	→
P 2	-	2	:	カメラ	シュ	ヘツ			

- ・ カメラCHをセットすると、カーソルが移動しますので**ページ**を押します。
- ・ ファンクション画面から戻ると、右上に→が点滅し、**確認**で設定され、自動的に次のCHがセットされます。
- ・ 続けて**セット**を押して設定を続けるか、**キャンセル**を押して前画面に戻ります。

コ	テイ		マ	ニ	ユ	アル		フ	リ	セ	ット

- ・ コテイ : 固定カメラ
- ・ マニュアル : ZPC (AC100V) 制御のパンチルト付きカメラ
- ・ プリセット : コンビネーションカメラなどプリセット機能があるカメラ
※固定カメラをプリセット番号呼出ししたい場合はプリセットに設定します。

⑤ ケーブル補償の設定 (F・3)

- ・ 同様に使用するカメラのケーブル補償を設定します。
※ケーブル補償とはケーブル長による映像の劣化を補償する機能です。

CH	0	0	0	ケー	ブル	チ	ョウ	:	シ	ョ	ー	ト	→
P 2	-	3	:	ケー	ブル	ホ	ショウ						

- ・ 同軸ケーブルの種類と距離で決定します (詳細はプリセットコントローラ参照)。

シ	ョ	ー	ト		ミ	ト	ル		ロ	ン	ク	

⑥ 機器接続の設定 (F・4)

- 使用するカメラの機器接続を設定します。

CH000 キキセツソク →
Pr > Vs > Ms > Mv > Fs > Dr > _

- カメラからマスタモニタまでの接続を順に設定します (最大7機種)。
- カメラCHをセットすると、カーソルが下段に移動しますので「セット」を押します。
- 下段にて「<」「>」を押すと隣の機器に移動します。
- 「C」を押すとカーソルがある位置の機器接続がクリアされます。
- 機器接続設定画面から戻ると、右上に→が点滅し、「確認」で設定され、自動的に次のCHがセットされます。
- 続けて「セット」を押して設定を続けるか、「キャンセル」を押して前画面に戻ります。

キキ1 : Mv ID 0 1 IN M 4 1 OUT 0 1
P 2 - 4 : セツソクキキ

- 「ページ」を押し、ファンクション画面で機器の種類を選択します。
- 画面が戻ったら、機器IDをセットします。
 - ※Prの場合はIDの入力があっても無視されます
 - ※Vsの場合はIDがシステムIDになりますので、標準は00をセットします。
- 入力CHと出力CHをセットします。CHが1つしかない場合は1をセットします。
- 分割画面を出力したい場合は、INを下記のように設定します。
 - ※「シフト」+「1~4」に設定すると4分割画面のA~Dが出力されます。
 - ※「シフト」+「6」に設定すると16分割画面が出力されます。
 - ※「シフト」+「8」, 「9」に設定すると9分割画面のB、Aが出力されます。

Pr		Ms		Vs
Fs		Mv		Dr

- Pr (プリセットコントローラ : PCS-358など)
- Ms (マトリクススイッチャ : MSW-6416など)
- Vs (ビデオスイッチャ : VS-516など)
- Fs (フレームスイッチャ : MVF-160など)
- Mv (マルチビューア : MVS-44Cなど)
- Dr (デジタルレコーダ : SDR-304など)

◆ ヒント ◆

カメラ選択CHにて、分割画面をある架空のCHに設定すれば、そのCHを入力することにより、カメラ単独画面のほかに分割画面も呼び出せます。

(例) カメラ4台が4分割マルチビューワに接続されている場合

カメラ台数を5台に設定。カメラ1~4を通常通り、CH001~004に設定。
CH005に4分割画面を設定。

3) システム設定 (オートスイッチャ)

① オートスイッチャ設定

- ・キーボード設定のスタートCH設定でオートスイッチャ (CH000) を設定した場合に、オートスイッチャ設定を行います。
- ・ で次のページ3を表示させます。

システム セッテイ
P 3 : オートスイッチャ

- ・ を押しファンクションを表示します。

カメラコ`ト | オールON | オールOFF
シ`カン | |

② カメラごとのオートスイッチ登録設定 (F・1)

CH000 スイッチャトウロク : ON →
P 3 - 1 : トウロク

- ・カメラCHをセットすると、カーソルが移動しますので を押します。

ON | OFF |

- ・ON : そのカメラはオートスイッチを行います。
- ・OFF : そのカメラはオートスイッチを行いません。

③ オールON設定 (F・2)、オールOFF設定 (F・3)

スヘ`テノカメラヲ スイッチシマス →
[カクニン] YES [キャンセル] NO

スヘ`テノカメラヲ スイッチシマセン →
[カクニン] YES [キャンセル] NO

- ・オートスイッチするカメラが多い場合、全てのカメラをONしてから、少数のカメラのオートスイッチをOFFにします。
- ・オートスイッチ設定をクリアしたい時、オールOFFを行います。

④ オートスイッチ時間設定 (F・4)

オートスイッチシ`カン : 000ヒ`ヨウ →

- ・オートスイッチ時間を秒単位で設定します。

4) システム設定 (パンチルト)

① パンチルト設定

- ・各カメラごとにZPC制御を行うかを設定します。
- ・システム設定のカメラ種別の設定でマニュアルを選択したカメラが対象となります。

システム セッテイ
P 4 : ハ ° ンチルト

- ・**ページ** を押しファンクションを表示します。

カメラコ ント | | オールOFF
| |

② カメラごとのZPC制御CH設定 (F・1)

CH000 ハ ° ンチルトセイキ ョ →
ZPCセイキ ョ CH : 000

- ・カメラCHをセットすると、ZPC制御CHにカーソルが移動します。
- ・ZPC制御器のCHをセットします。

③ オールOFF設定 (F・3)

ZPCニヨルセイキ ョハ アリマセン →
[カクニン] YES [キャンセル] NO

- ・ZPC制御するカメラない場合や、設定をクリアする場合に設定します。

5) システム設定 (工場出荷)

① 工場出荷設定

- ・**>** で次のページ5を表示させます。

システム セッテイ
P 5 : コウシ ョウ シュツカ

- ・**ページ** を押しファンクションを表示します。

KB | Pr |

② キーボード (F・1)、プリセットコントローラの工場出荷設定 (F・2)

コウシ ョウシュツカ KB →
[カクニン] ナカ ヲシ [キャンセル] ナシ

コウシ ョウシュツカ Pr →
[カクニン] ナカ ヲシ [キャンセル] ナシ

- ・設定データを消去し初期状態に戻します。
- ・**確認** を2秒以上、長押しすると設定したデータが全て初期化されますので、充分にご注意ください。

【5. 2】 登 録

1) プリセット登録

プリセット登録は、監視画面で **シフト**+**番号** ボタンを同時に押します。

① プリセット登録

- ・プリセット登録とは、あらかじめカメラの向きとズームに番号を付けて記憶させることです。その後はカメラCH選択（ホーム動作）やプリセット番号呼出しをするだけで自動的にカメラが動作し、目的の画面をとらえます。

フ ° リ セ ッ ト ト ウ ロ ク
P : ホ ° シ ° シ ョ ン

- ・**ページ** を押しファンクションを表示します。

ホ ー ム | フ ° リ セ ッ ト |
ト ° ウ サ | |

② ホームポジション登録（F・1）

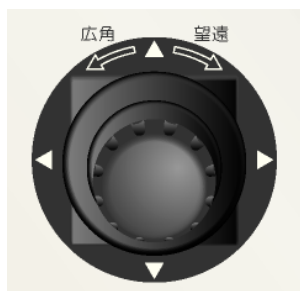
- ・ホームポジションとは、カメラ起動時に向く位置です。
- ・カメラCH選択を行った時に、他局（他のキーボード）が操作していても、元のホームポジションに戻ってから操作できます。
- ・ホームポジションは各カメラCHのポジションN 0 0 1（固定）を登録します。

ホ ー ム ホ ° シ ° シ ョ ン
C H 0 0 0 N 0 0 1 コ テ イ

- ・カメラCHをセットします。
- ・登録から戻ると自動的に次のCHがセットされます。
- ・続けて**セット** を押して設定を続けるか、**キャンセル** を押して前画面に戻ります。

ホ ー ム ホ ° シ ° シ ョ ン →
[カ ク ニ ン] メ モ リ [キ ャ ン セ ル] シ ナ イ

- ・3Dジョイスティックでカメラを操作し、目的の画面に合わせます。



- ・**ジョイスティック** を倒すとカメラの向きが変わります。倒した角度が大きいほど動作スピードが速くなります。
- ・**つまみ** を回すとズームします。まわす角度が大きいほどズームスピードが速くなります。
- ・**スピード** を押すと、LCD画面のSPD：ノーマルとオートが切り替わります。オートの場合はズームするに従いパンチルトの速度が遅くなり、モニタ画面をみながら自然な操作が行えます。

- ・右上に→が点滅し、**確認** で登録されます。**キャンセル** は登録されずに前画面に戻ります。

③ プリセットポジション登録 (F・2)

- ・プリセットポジションとは、プリセット番号呼出しされた時に、カメラが自動的に向く位置のことです。
- ・プリセット番号呼出しを行った時に、他局（他のキーボード）が操作していても、元のプリセットポジションに戻ってから操作できます。
- ・プリセットポジション番号には、各カメラCHのポジション番号001～を登録します（プリセットコントローラによりCHごとに登録できる最大値が変わります。例えばPCS-351は99ポジション、PCS-358は200ポジションです）。
- ・プリセット番号は0001～9999までの任意の数値を登録できます。

フ	リ	セ	ッ	ト	N	o	0	0	0	0
C	H	0	0	0	N	o	0	0	1	

- ・プリセットNo（呼出し番号）と登録するカメラCHとそのポジションNoをセットします（※No001はホームポジションになります）。

フ	リ	セ	ッ	ホ	シ	シ	ヨ	ン	→									
[カ	ク	ニ	ン]	メ	モ	リ	[キ	ャ	ン	セ	ル]	シ	ナ	イ

- ・3Dジョイスティックでカメラを操作し、目的の画面に合わせます。
- ・**確認**で登録されます。**キャンセル**は登録されずに前画面に戻ります。

④ ホーム動作の設定 (F・4)

- ・ホーム動作をするかどうかを設定します。

ホ	ー	ム	ト	ウ	サ	→											
[カ	ク	ニ	ン]	ス	ル	[キ	ャ	ン	セ	ル]	シ	ナ	イ

- ・ホーム動作をするに設定すると、**監視**を押して操作を終了した時に、操作したプリセットカメラが全て自動的にホームポジションに戻ります。
- ・ホーム動作をしないに設定すると、**監視**を押して操作を終了した時に、操作したカメラの向きは操作した位置にとどまります。
- ・**確認**で設定されます。**キャンセル**は設定されずに前画面に戻ります。

【5. 3】 監視

1) 監視状態

監視状態にするには **監視** を押します。

- ・監視状態とは、全てのカメラの操作をしていない状態です。つまり、操作権を開放したことになり、3Dジョイスティックを操作してもカメラの向きは変わりません。
- ・基本的には、操作を終了した時に監視状態にします。

マスタモニタ : CH * * * オートスイッチ

- ・監視状態では、設定されたオートスイッチ画面か、固定CHがマスタモニタに映ります。
- ・オートスイッチャが設定されている場合は、右上にオートスイッチと表示され、設定された時間でオートスイッチ設定がONになっているカメラCHが切り替わり、マスタモニタに映し出されます。

【5. 4】 操作

※カメラを操作するためには、まずプリセット番号呼出し、またはカメラCH選択を行います。その後、そのカメラを操作することができます。

1) プリセット番号呼出し

プリセット番号呼出しを行うには、**番号** を押します。

① プリセット番号入力

N o 0 0 0 0

- ・プリセットNo. (番号) をセットします。
※あらかじめプリセット登録していないと動作せず、ピピピッとブザーがなります。

② カメラ操作

N o * * * * S P D : オート
P 1 : マニュアル ソウサ


- ・カメラが自動的に動作し、目的の画面がマスタモニタに映し出されます。
- ・その後、3Dジョイスティックでカメラを操作することができます。
- ・スピードを押すと、ノーマルとオートが切り替わります。呼出された時は常に、オートになっています。

- ・**ページ** を押しファンクションを表示します。




ショウメイ | オートハン | リセット
フォーカス

- ・操作方法は 2) カメラCH選択 ④プリセットカメラ を参照ください。
- ・操作中はもう一度**ページ** を押すと前画面に戻ります。

③ カメラ設定

- ・操作しているカメラが対応している場合は、次の設定を行うことができます。
- ・  で次のページ2を表示させます。

N o * * * *	S P D : オート
P 2 : カメラ	

- ・  を押しファンクションを表示します。
- ・操作画面ではファンクション画面からでも、、 で直接次のページのファンクション画面に移動することができます。

フリッカレス	カント`UP	ホワイトBL
ホワイト`D	キ`ャッコウ	オートB/W

④ フリッカレス (F・1)

- ・関東地区では電源周波数が映像の周波数と異なるため、蛍光灯などの照明では、映像がチラチラすることがあります。フリッカレスをONにすると、チラチラはなくなりますが、多少モニタ画面が暗くなります。

フリッカレス	OFF
	ON

⑤ 自動感度アップ (F・2)

- ・屋外を監視している場合、夕方になると徐々に暗くなり、映像も暗くなっていきます。自動感度アップを設定すると、ある程度まわりが暗くても明るい映像になります。ただしノイズと残像が多くなります。

シ`ト`ウカント`アップ`	OFF	
S/N	STD	ウゴキ

- ・OFF : 自動感度アップOFF
- ・S/N : 比較的ノイズは少ないが残像が多くなります。
- ・STD : S/Nとウゴキの中間です。
- ・ウゴキ : 比較的残像は少ないがノイズが多くなります。

⑤ オートホワイトバランス (F・3)

- ・日光、蛍光灯、白熱灯などの色々な光源の色合いの中で、自動的に白いものは白く映るようにする機能です。

オートホワイトハ`ランス		
オート1	オート2	1プ`ッシュ

- ・オート1 : 標準的な設定です。
- ・オート2 : カメラの種類によって特別な光源の場合に使用します。
- ・1プッシュ : 1プッシュオートホワイト機能がある場合に使用します。

⑥ ワイドダイナミックレンジ (F・4)

- ・屋内と屋外を同時に映すと、屋外が白けたり、屋内が暗くなったりします。ワイドダイナミックレンジを設定すると、屋内外とも自然に見えるようになります。

ワイドダイナミックレンジ	OFF
	ON

⑦ 逆光補正 (F・5)

- ・屋内と屋外を同時に映すとその明暗の割合で、屋外がはっきり見え、屋内が真っ暗になることがあります。逆光補正をかけると、屋外が白っぽくなり屋内の映像がはっきり見るようになります。

逆光補正	OFF
	ON

⑧ オートB/W (F・6)

- ・オートB/Wは、照明が暗くなった場合に、自動的に白黒映像になり、感度が上がり鮮明な映像が得られます。

オート	B/W	
オート	カラー	B/W

- ・オート : 自動的に白黒映像に切り替わります。
- ・カラー : カラー映像のまま切り替わりません。
- ・B/W : 白黒映像のまま切り替わりません。

④ プリセットカメラの選択

- ・プリセットカメラとは、コンビネーションカメラなどレンズパンチルト一体型プリセット機能つきカメラのことです。

C H * * *	S P D : オート
P 1 : マニュアル	ソウサ

- ・3Dジョイスティックでカメラを操作することができます。



- ・ワイパ機能のあるカメラは、**ワイパ**を1回押すと約5秒間ワイパが動作します。



- ・オートフォーカスレンズが装備されている場合、白い壁やブラインドなど、縦線や濃淡がない画面ではフォーカスが合わない場合があります。そのとき**遠**、**近**を押し、手でフォーカスを合わせることができます。



- ・**スピード**を押すと、LCD画面のSPD：ノーマルとオートが切り替わります。オートの場合はズームするに従いパンチルトの速度が遅くなり、モニタ画面をみながら自然な操作が行えます。

- ・**ページ**を押しファンクションを表示します。

リセット	オートハン	リセット
ショウメイ	オートハン	フォーカス

- ・リセット : カメラがリセット動作を行い、動作原点を設定しなおします。
※通常は使用しません。
- ・ショウメイ : 照明機能付きカメラの場合、照明がON/OFFします。
- ・オートパン : オートパン（自動首振り）動作をON/OFFします。
※通常オートパンの使用は推奨いたしません。
- ・フォーカス : 1プッシュフォーカス機能がある場合に使用します。

3) 機能モード (デジタルレコーダの操作)

デジタルレコーダの操作を行うには、**モード**を押します。

デジタルレコーダ (SDR-301/304) の操作ボタンの制御が行えます。

① デジタルレコーダのID入力

D r : I D 0 0
P 1 : ロクカゝ / ロック

- ・使用したいデジタルレコーダのIDをセットします。

② デジタルレコーダの操作

- ・**ページ**を押しファンクションを表示します。

フ°リアラーム		ロクカゝ		ロック
タイマー		テイシ		ロックオフ

- ・それぞれのファンクションがデジタルレコーダの前面パネルのボタンに対応しています。
- ・**ページ**と**<** **>**でページ (ファンクション画面) を切り替えてデジタルレコーダの操作を行います。カーソル移動はジョイスティックを使用します。それぞれの機能/動作についてはデジタルレコーダの取扱説明書をご参照ください。

D r : I D * *
P 2 : ケンサク / セッテイ

ケンサク		ケッテイ		モトゝル
セッテイ				

D r : I D * *
P 3 : ヒョウシゝ

CH 1		CH 2		オート
CH 3		CH 4		フゝンカツ

D r : I D * *
P 4 : サイセイ

リハゝース		ホ°ースゝ		サイセイ
ハヤモトゝシ		テイシ		ハヤオクリ

4) 他局操作とロック

① 他局操作

- ・キーボードの操作権は基本的に後優先です。複数のキーボードを同時に使用した場合、それぞれ別のカメラを操作しているときは問題ありませんが、同じカメラを操作しようとした場合、後から操作したキーボードに操作権があります。

※前優先だと、操作終了後に **監視** を押し忘れた場合、いつまでたっても、そのカメラを操作することができなくなってしまいます。

- ・もし、使用中に他局（他のキーボード）から操作権を奪われた場合は、LCD画面に次のメッセージが表示されます。

N o * * * *
タキョクソウサ！ [セット]サイソウサ

- ・この場合、カメラ操作はできなくなります。
- ・このままの状態でもう一度セットを押すと、再び操作権を得ることができます。
- ・新たに、他のカメラを選択し、操作することは可能です。
- ・他局が **監視** を押して操作をやめた時、自局も監視画面に戻ります。

② ロック

ロックを行うには、**ロック** を押します。

- ・どうしても操作権を奪われたくない場合には操作権をロックすることができます。

N o * * * * [ロック] SPD : オート
P 1 : マニュアル ソウサ

- ・LCD画面上に [ロック] と表示されます。
- ・カメラ操作はそのまま行うことができます。

③ ロックされているカメラを操作しようとした場合

- ・もし、他局がロック中のカメラを操作しようとした場合は、LCD画面に次のメッセージが表示されます。

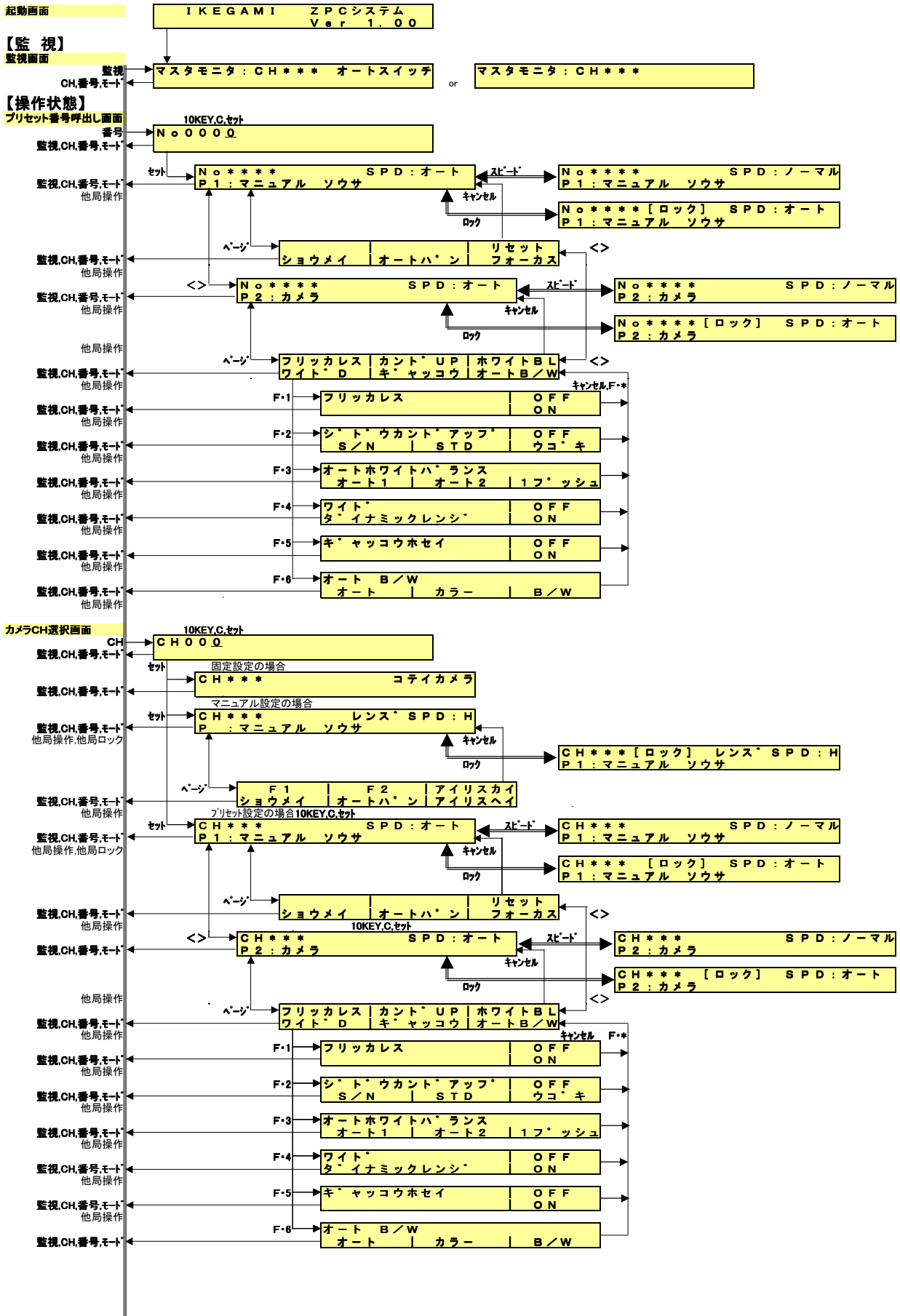
N o * * * *
タキョク ロックチュウ

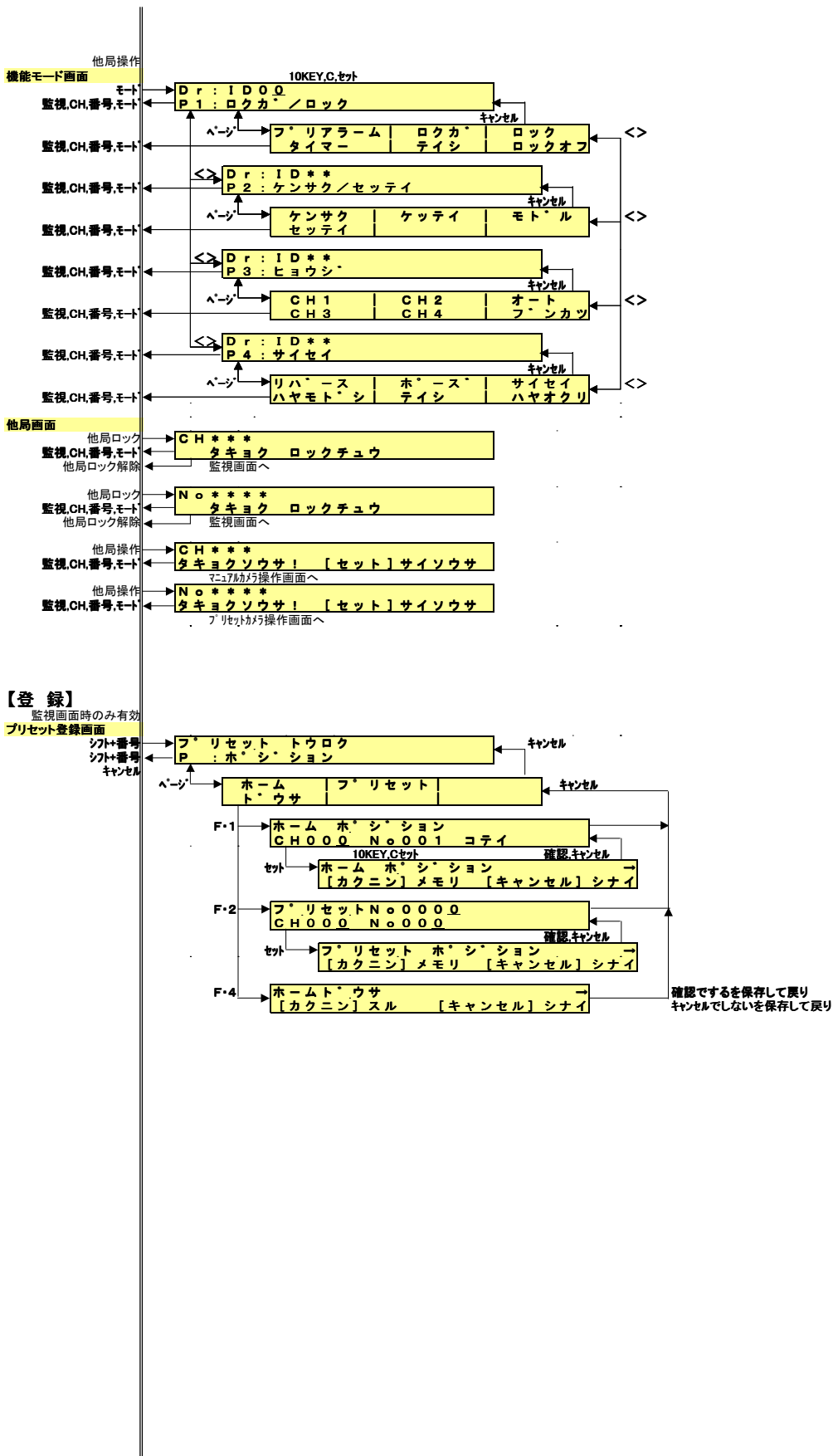
- ・ロック中新たに、他のカメラを選択し、操作することは可能です。
- ・強制的にロックを解除するためには、**シフト** + **ロック** を押します。

※すべてのCHのロックが解除され、カメラを操作することができるようになります。

- ・他局が **監視** を押して操作をやめた時、自局も監視画面に戻ります。

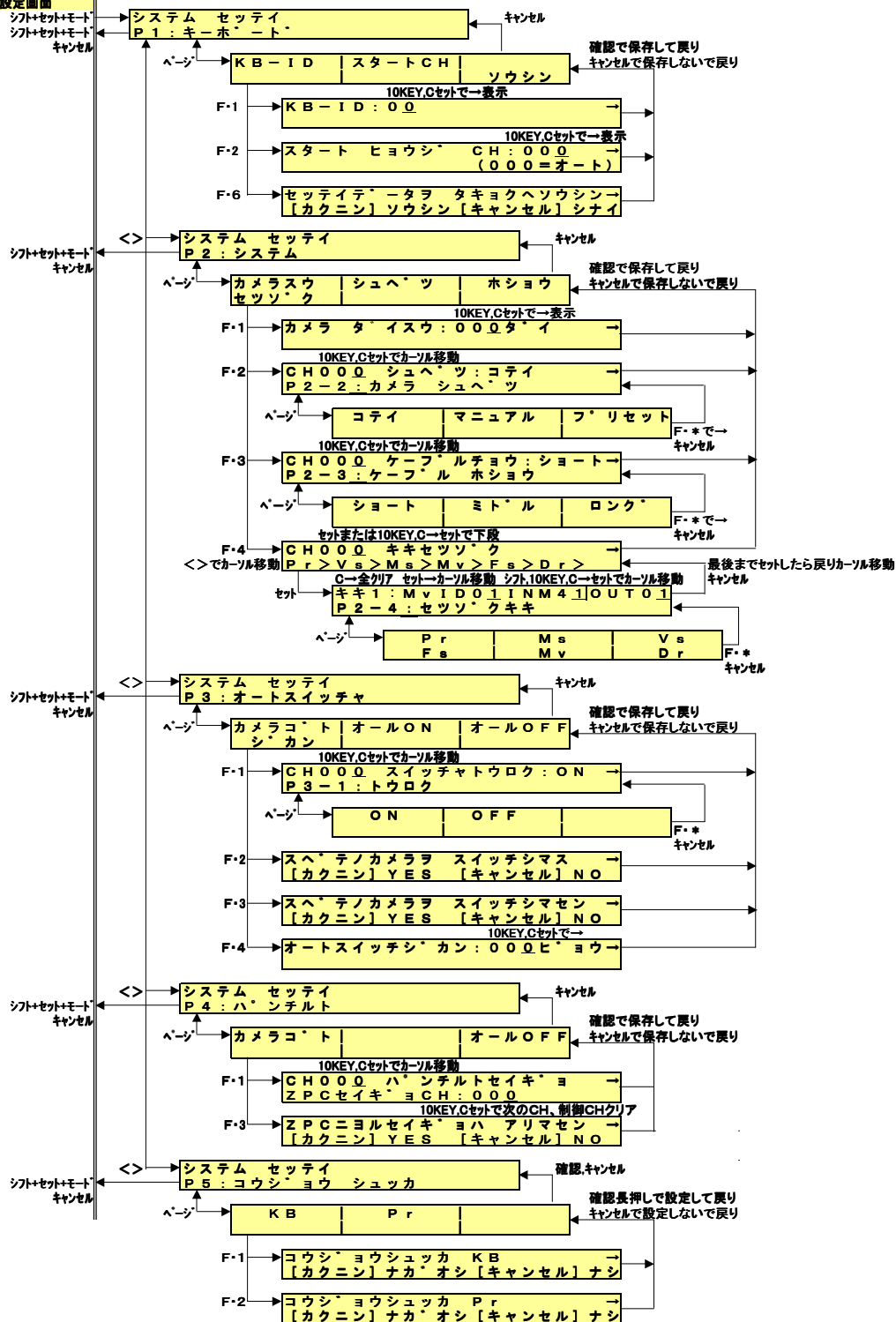
6. 画面遷移





【設定】

監視画面時のみ有効
システム設定画面



7. トラブルシューティング

Q : キーボードを複数台使用しているとき、カメラ操作やLCD画面がおかしい。

A : キーボードのIDが同じになっている。(P 6)

Q : キーボードを複数台使用しているとき、マスタモニタのオートスイッチャ画面の動作がおかしい。

A : 複数のキーボードでオートスイッチ設定をしている。(P 6)

Q : ピピピッとブザーが鳴り、画面が切り替わらない。

A : カメラ台数設定が実際使用するカメラ数より少ない。(P 7)

Q : マニュアル／プリセットカメラが動作しない。

A : カメラ種別設定で間違ったカメラ種別を設定している。(P 7)

A : パンチルト設定でZPC制御CHを設定していないか、間違っている。(P 10)

A : パンチルト設定でオールOFFになっている。(P 10)

Q : カメラ映像が暗い、明るい、画面が乱れる。

A : ケーブル補償設定で、適当な設定になっていない。(P 7)

目安として同軸3C-2Vの場合：ショート～100m ミドル～200m ロング～300m

Q : カメラCH選択や、プリセット番号呼び出しのときマスタモニタの画面が切り替わらない。または違う画面になる。

A : 機器接続設定が間違っている。(P 8)

Q : キーボードのスタートCH設定で000（オートスイッチ）に設定したのに、マスタモニタがオートスイッチしない。またはCHが抜ける。

A : カメラごとのオートスイッチ設定で、抜けてしまうカメラCHがOFFになっている。(P 9)

A : オールOFF設定で全てのCHがOFFになっている。(P 9)

A : オートスイッチャ設定で切り替え時間が0秒になっている。(P 9)

Q : プリセットカメラがホームに戻らない。

A : ホームポジション登録をしていない。(P 11)

A : ホーム動作設定でホーム動作しないになっている。(P 12)

Q : プリセット番号呼び出しができない。

A : ピピピッとブザーが鳴り、プリセット番号登録をしていない。(P 12)

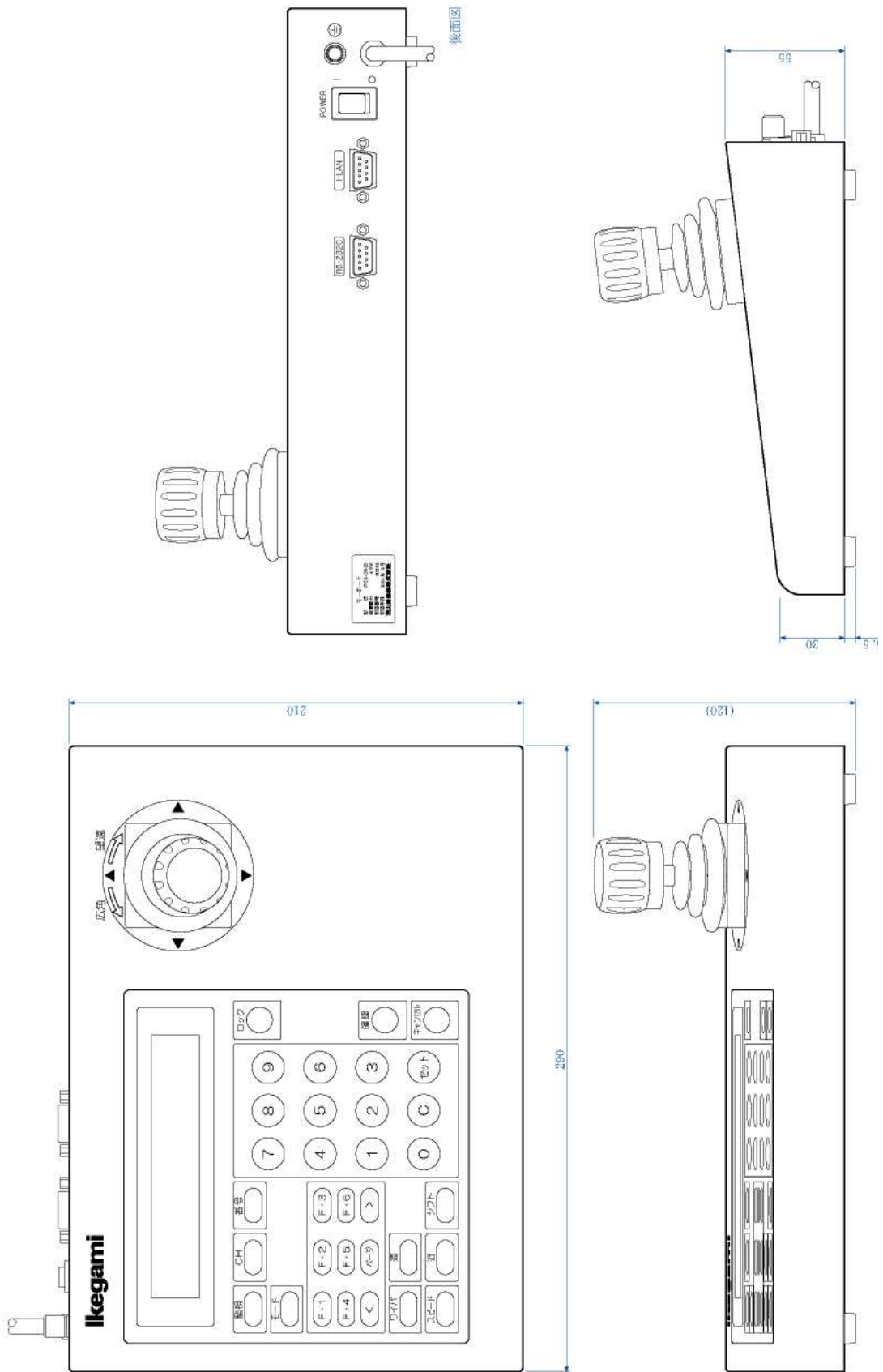
8. 仕様

1. 通信	I-LAN : D-SUB9 オス RS-485 準拠 アサイン ①+ ⑤GND ⑨- その他 NC RS-232C (バージョンアップ I/F 兼用) : D-SUB9 オス RS-232C DCE アサイン ①NC ②T ③R ⑤GND ④-⑥ショート ⑦-⑧ショート ⑨NC
2. ジョイスティック	3D タイプ 動かす角度によりスピード制御 (パンチルト: 15 段階、スーム: 3 段階)
3. 操作ボタン	メンブレンスイッチ
4. 表示部	バックライト付 LCD (20 文字 × 2 行)
5. 使用温度	0°C ~ 40°C
6. 保存温度	-10°C ~ 60°C
7. 電源	AC 100V ± 10% 50/60Hz
8. 消費電力	4.5W 以下
9. 外形寸法 (W × H × D)	290 × 120 × 210 mm
10. 質量	約 2.5 Kg
11. 付属品	I-LAN 通信ケーブル : D-SUB9 オス ストレート 5m

9. 保証とアフターサービス

- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。(ただし消耗品は除く) 保証書の記載内容よりお買い上げの販売店が修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店または営業マンにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償修理いたします。
- 修理をご依頼の時は、お手数でももう一度取扱説明書をよくお読みになり、再度お確かめの上、型名、ご購入日、故障状況などをできるだけ詳しくお知らせください。
- その他のアフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店または営業マンにご相談ください。
- 本装置を末永くご使用いただくために、定期点検を受けられることをおすすめします。

10. 外觀圖



Ikegami